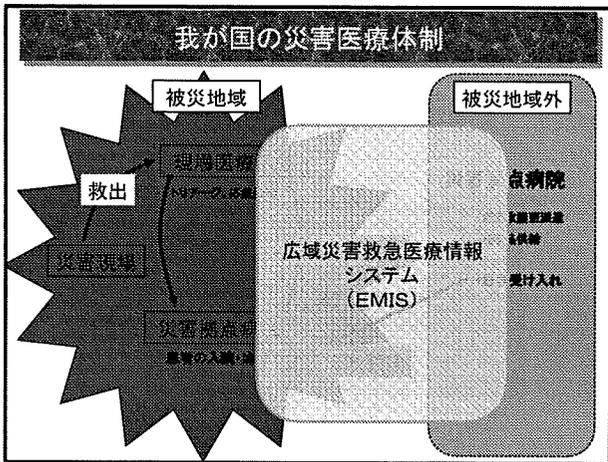


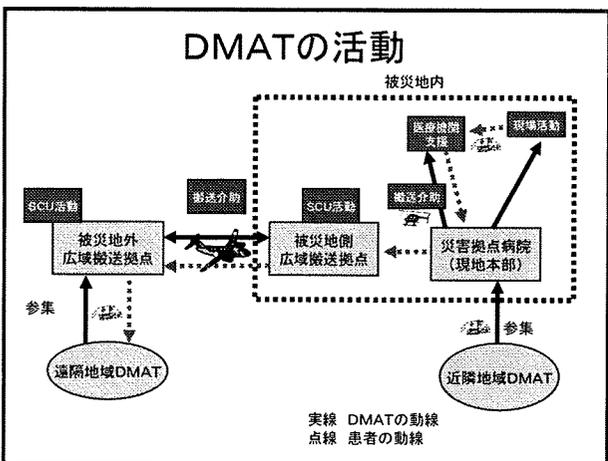
近年の災害医療体制の整備と 中越沖地震への対応

日本医科大学付属病院
高度救命救急センター
近藤久禎

DMATの概要

- DMATとは
 - 災害の急性期(概ね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームである。
- 法的位置づけ
 - 防災基本計画
 - 日本DMAT活動要領(厚労省医政局指導課長通知)
- 整備状況
 - 268施設、361チーム、2171名養成済み
- 国、都道府県の役割
 - 都道府県: DMAT指定、協定締結、災害時の派遣要請・運用
 - 国: 活動・要員研修の標準化、要員の認定、災害時の総合調整



携帯電話からの入カイメージ

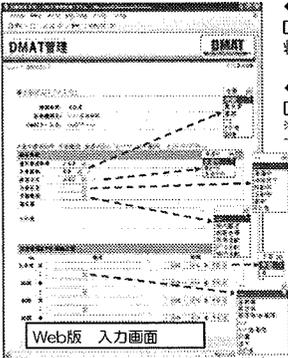
広域災害救急医療情報システム
一斉通報機能

①メールの内容にログイン画面へのURLを記入する。
②URLをクリックすることでログイン画面が表示される。

ログイン画面でIDとPassを入力すると、携帯メニュー画面が表示される。

主な機能

■ 活動状況入力



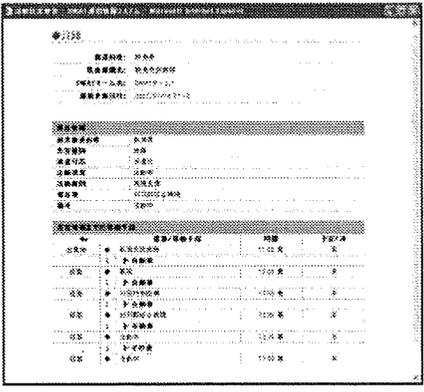
◆概要
DMATチーム（指定医療機関）が活動状況の入力を行う。

◆利用者（入力者）
DMATチーム（指定医療機関）※都道府県担当者も代行して入力することができます。
ー活動状況入力（代行）

Web版 入力画面



DMAT番号	指定医療機関	チーム名	活動状況	活動時刻	活動内容
1	下田病院	DMAT201001	活動中	08:00	災害支援
2	香川県立中央病院	DMAT201002	活動中	08:00	災害支援
3	岡山県立中央病院	DMAT201003	活動中	08:00	災害支援
4	徳島県立中央病院	DMAT201004	活動中	08:00	災害支援
5	高知県立中央病院	DMAT201005	活動中	08:00	災害支援
6	愛媛県立中央病院	DMAT201006	活動中	08:00	災害支援
7	高松市立病院	DMAT201007	活動中	08:00	災害支援



DMAT番号: DMAT201001

指定医療機関: 下田病院

DMATチーム名: DMAT201001

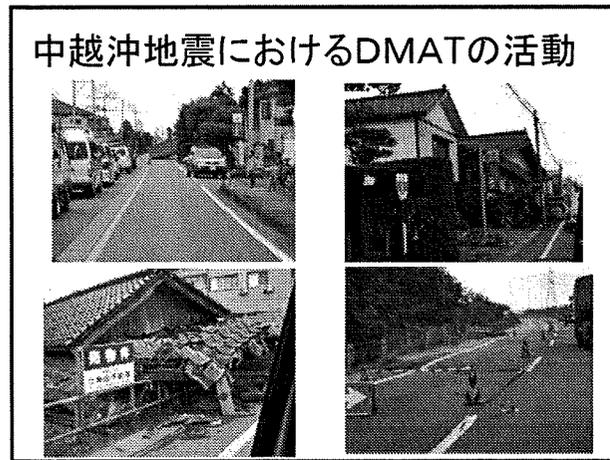
活動状況: 活動中

活動時刻: 08:00

活動内容: 災害支援

DMAT番号	指定医療機関	チーム名	活動状況	活動時刻	活動内容
1	下田病院	DMAT201001	活動中	08:00	災害支援
2	香川県立中央病院	DMAT201002	活動中	08:00	災害支援
3	岡山県立中央病院	DMAT201003	活動中	08:00	災害支援
4	徳島県立中央病院	DMAT201004	活動中	08:00	災害支援
5	高知県立中央病院	DMAT201005	活動中	08:00	災害支援
6	愛媛県立中央病院	DMAT201006	活動中	08:00	災害支援
7	高松市立病院	DMAT201007	活動中	08:00	災害支援

- ### DMAT活動事例
- ・ サロマ湖竜巻
 - 北海道2チーム出動
 - ・ 八甲田雪崩
 - 青森2チーム現地活動
 - ・ 高知空港胴体着陸
 - 高知2チーム待機
 - ・ 能登地震
 - 全国127チーム待機準備
 - 北陸等13チーム出動、9チーム現地活動



- ### DMAT活動概要
- 10:13 地震発生
 - 10:30 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)を災害運用開始
 - 10:33 厚労省より全国のDMATに待機要請
新潟県DMATを現地へ派遣
 - 11:55 日本医大千葉北総病院(千葉県)へDMATをへりて派遣要請
 - 13:12 日本医大千葉北総病院DMATドクヘリが長岡赤十字病院着
 - 13:35 最初のDMAT(新潟市民病院)が刈羽郡総合病院へ到着
 - 13:50 刈羽郡総合病院から長岡赤十字病院へ自衛隊機チヌークで2名搬送
 - 14:19 隣接県のDMATへの派遣要請(刈羽郡総合病院に参集)
 - 15時以降 刈羽郡総合病院へ各地からDMATが集まり始める。

災害医療情報の入力項目変更

● 緊急時入力情報項目

緊急時入力(災害医療情報)

患者氏名(姓)……………

患者氏名(名)……………

性別……………

年齢……………

〒……………

市町村……………

区……………

町……………

丁目……………

番地……………

ビル名……………

〒……………

市町村……………

区……………

町……………

丁目……………

番地……………

ビル名……………

※チェックがいつも無い場合

1-1 性別……………

1-2 年齢……………

※チェックがいつもある場合

1-1 性別……………

1-2 年齢……………

緊急時入力(災害医療情報)

災害医療の提供機関情報(医療機関として登録しているが、患者の受け入れが困難な)の入力を行う。

①医療・医療機関の情報

医療機関の名称又は、似ての恐れがあることで患者の受け入れが困難な場合にチェックを行う。

②受け入れの理由

キャンペーンのオーバーによってこれ以上患者の受け入れが困難な場合にチェックを行う。

③オンラインが利用できない理由

オンライン(電話・水・高度方式)が使用不可能なため、医療行為が行えない場合にチェックを行う。

④その他

1-1以外の理由で患者の受け入れが困難な場合にチェックを行う。チェックを行うとその状態にフリーで理由の入力が行える。

⑤チェックが無い場合

1-1項目でチェックが無い医療機関は患者の受け入れが可能で医療機関となる。

災害医療情報の入力項目変更

● 詳細情報入力項目

詳細情報入力(災害医療情報)

患者氏名(姓)……………

患者氏名(名)……………

性別……………

年齢……………

〒……………

市町村……………

区……………

町……………

丁目……………

番地……………

ビル名……………

〒……………

市町村……………

区……………

町……………

丁目……………

番地……………

ビル名……………

詳細情報入力(災害医療情報)

医療機関の情報が既に把握できた場合に入力を行う。医療機関の状況、災害医療の実績を入力する。

①医療機関の情報

医療機関で受け入れが困難な患者の状況がある場合に入力する。

②受け入れている患者数

現在受け入れている患者・中重度患者数を入力する。(累計ではない)

③転送が必要な患者数

転送が必要な患者数を入力する。また、その中で広域搬送が必要な患者数を入力する。

④オンラインの状況

現在のオンラインの状況を個別に入力する。

⑤その他

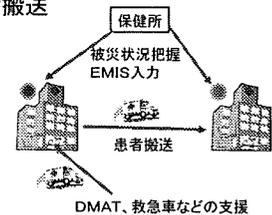
その他、1-1以外の特記する事項(医薬品の不足、自衛隊等出動のアセス状況等)をフリー入力する。

今後の課題

- 入力の実効性の向上
 - 全医療機関への周知
 - 都道府県・保健所の代行入力機能の強化
 - 保健所に対する研修
- 消防、自衛隊など関係機関への周知
 - 他機関との調整のツールとしての活用

災害医療と保健所の連携

- 保健所の役割
 - 管下の医療機関の被災状況把握
 - EMISへの入力
- DMAT、消防機関への情報共有
- 円滑な災害支援、患者搬送

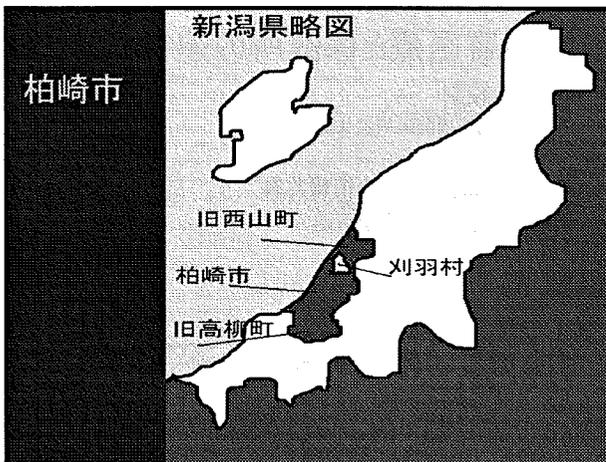


中越沖地震 被災地における 自助、共助、公助

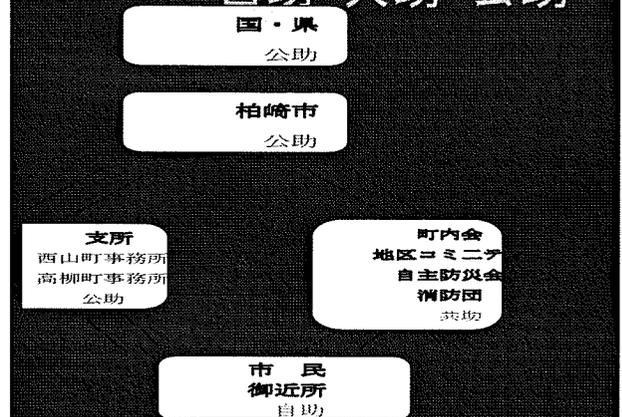
加藤 武男
柏崎市議会議員
柏崎市西山町住民

合併直後の柏崎市

- 市役所本庁で指揮をとるべきこと
- 旧町、西山町、高柳町に権限を持たせること
- 学区単位に権限を持たせること



自助・共助・公助



町内会長へのアンケートより

- 住民の安否確認・特に災害弱者
- 避難所への避難誘導
- 被災状況の把握と防犯・町内パトロール
- 水、食料の調達
- 町内会における災害対策本部の立ち上げ
- 行政と避難所との連絡
- 被災者の手によるボランティア活動
- 広報活動・集落放送、連絡ボード、広報車

本庁の役割

- 応急生活確保の為、速やかに国等各所に支援要請
- 災害による被害認定と利用の制限
- 避難所の設営とその支援

支所の役割

- 応急生活確保の為、本庁との連絡確保と支援要請
- 支所としての災害対策本部の立ち上げ
- 被害認定への協力体制
- 避難所の設営と支援



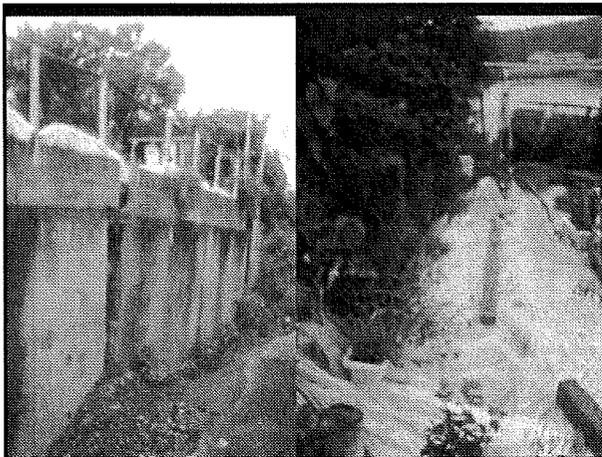
橋という橋は、ほとんど
段差ができて直後は
通行不能



下水道工事の後、中越地
震で被害を受けたところ
が再度の被害を受けて
いる



西山町和田地内



第66回日本公衆衛生学会総会
厚生労働科学研究班によるサテライト緊急集会

新潟県中越沖地震の経験を 健康危機管理に生かす

岡野谷 純

特定非営利活動法人
日本ファーストエイドソサエティ

ボランティアの 安全衛生に関する取組み

- 災害ボランティアの意義・活躍
- 災害ボランティアの安全衛生に関する取組み
- 公衆衛生関係者に知っておいていただきたいこと

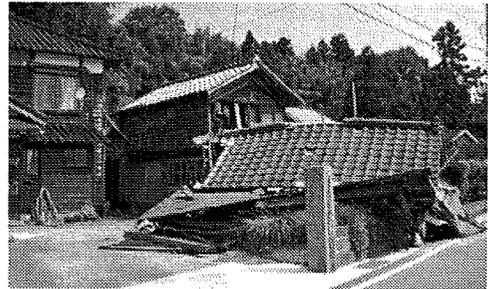
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

近年の災害とボランティア活動

年・月	災害名	ボランティア数
1995年1月	阪神・淡路大震災	137.7万人
1997年1月	ナホトカ号海難・流出油	27.5万人
2000年9月	東海豪雨（秋雨前線）	2.0万人
2001年9月	高知西南部豪雨	1.1万人
2004年7月	16年7月新潟・福島豪雨	4.5万人
2004年7月	16年7月福井豪雨	6.0万人
2004年10月	台風23号	4.4万人
2004年10月	新潟中越地震	8.6万人
2007年3月	平成19年能登半島地震	
2007年7月	新潟中越沖地震	

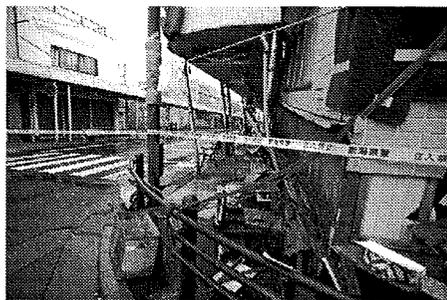
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



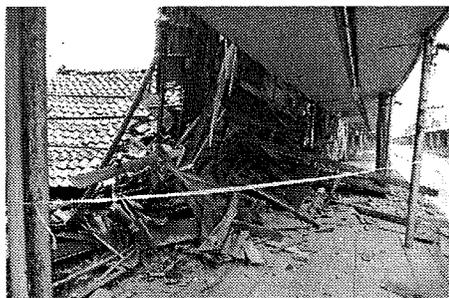
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



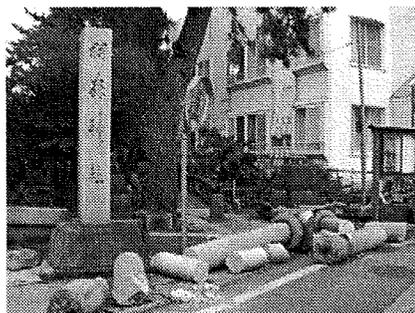
2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況



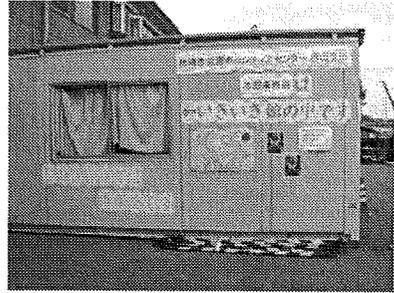
2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

新潟中越沖地震の状況 ～災害ボランティアの活動



247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



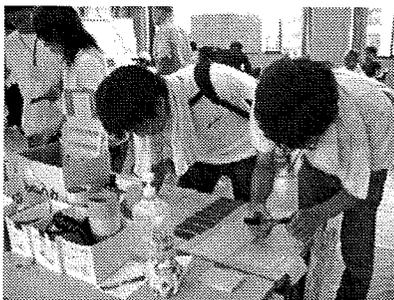
247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



247-10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



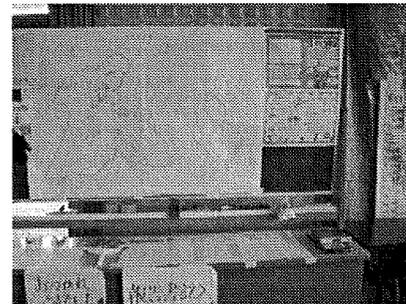
2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



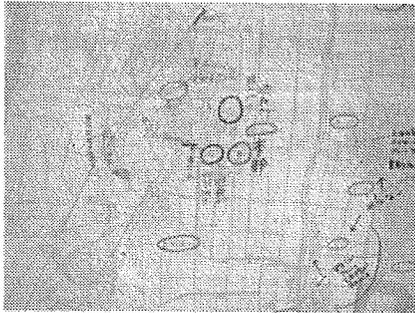
2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



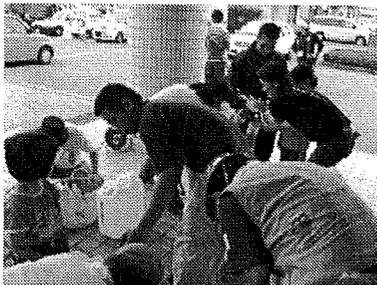
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



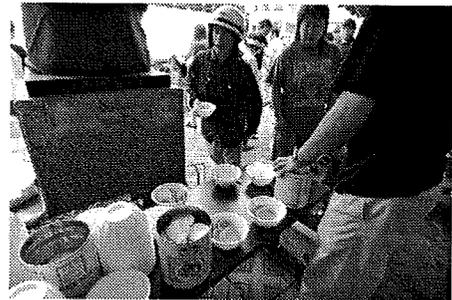
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



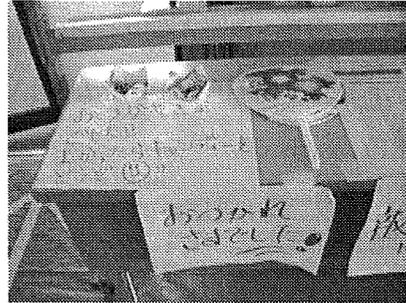
2007/10/26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動 ～安全衛生に関する取組み



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

- ※ 阪神淡路大震災～現在までの取り組み
- ※ ボランティアの安全衛生？
- ※ 少しずつ理解の輪が広まり・・・
- ※ 被災地ボラセンで自主的に項目化され・・・
- ※ 国単位の検討課題にあげられ始め・・・
- ※ 次は・・・

2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

1995年1月 阪神・淡路大震災

- ・ 多くのボランティアが活動 137.7万人
- ・ 炊き出し、救援物資の仕分け・配送、ごみの収集・運搬、避難所での作業補助、被災者の安否確認、被災者に対する情報提供、高齢者等介護や移送、保育、水くみ、入浴サービス、夜間防犯パトロール、交通整理

247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの活動



247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

発災1週間後～

- ・ ボランティアに疲弊がみられ始める
- ・ ケガや病気が増加した。
風邪症状、熱発、下痢、嘔吐、不穏
アレルギー、不眠、脱水・・・
打ち身、捻挫、擦過傷、やけど・・・

247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

ボランティアの意識・訴え

- ・ 気持ち：少し休めば大丈夫、頑張れる
帰る気はない、弱音は禁物
被災者はもっと辛い
- ・ 薬品：被災者のもの。
自分が消費すべきではない

247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

行政・医療者の意識

- ・ まずは被災者の健康管理が必要
- ・ ボランティアのことまで考えられない
- ・ 自分の責任、自己完結なのでは？

247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

JFASの活動

- ・ 体調不良な者への一時帰省指導
- ・ 薬品の調達、病院・医師への引継ぎ
- ・ 保健師への依頼、衛生管理
- ・ ボランティアC、行政への状況の周知

247-10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

厚生労働省への提言（1995年3月）

- ・ 被災地におけるボランティアの安全衛生管理が急務であること
- ・ ボランティア活動中、活動後の2次的
心的トラウマの防止が必要であること

2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

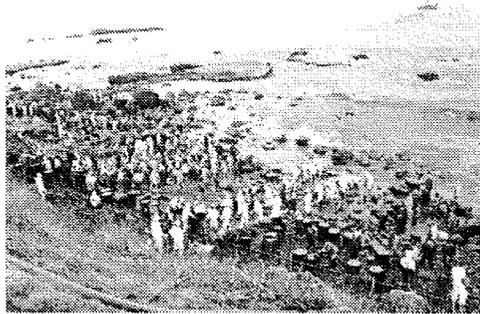
災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

その後の災害でのボランティア環境

- ・ 重油流出事故、水害、風害、台風、
火山噴火など大規模な自然災害
- ・ 多くの災害救援ボランティアの
安全が脅かされる状況が発生した
- ・ ついには死亡も報告される事態発生

2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

健康チェックカード の試行 (例)

男女 氏名 歳 住所 電話

1. 10年以内に破傷風の予防接種を受けましたか？
(はい・いいえ)
2. 高血圧の薬を飲んでいますか？ (はい・いいえ)
3. ふだんの血圧を書いてください。 /
4. 心臓の病気はありますか？
(1) ない (2) 以前、治療したことがある (3) 現在治療中
(4) 治療をすすめられたが、放置している

2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

- 海岸で重油回収作業中、5名が死亡
(急性心不全等、50～70歳台)
- 災害ボランティア活動での死亡者として
初めて認識された事例
- 過去の教訓は生かされていない
- ボランティアコーディネーター関係者の中で
安全衛生管理の必要性の認識が高まる

2007.10.26 第66回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

活動や参加者の多様化⇒リスクの変化

- ・ 活動時期や気候が多岐に渡る
- ・ 遠隔地からの参加者は被災地の気候や風土に慣れていない

思わぬ緊急時 予防と対処の必要性

2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

- ※ ボランティア活動は自主的なものなので、公務災害も労働災害も適用されない（自己責任が原則）
- ※ 災害ボランティアの多くは被災地では精神的に高揚状態にあり、無理をしまいがち
- ※ 休まず頑張り続けるボランティアがいると、被災者や他のボランティアは休むのは申し訳ないと感じてしまう

2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

- ※ 現場に労働安全衛生の知識を持つ人材が少ない場合が多く、危険の予測や予防が充分できていない可能性
- ※ ボランティアの数が多いと、危険な作業でもいいからしたいという要望が出やすい
- ※ ボランティアセンターや地元行政の安全衛生上の指示・要請を聴かず、独自に活動するボランティア団体・グループも存在

2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの 安全衛生に関する取組み

ボランティア向け危機管理プログラム



2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

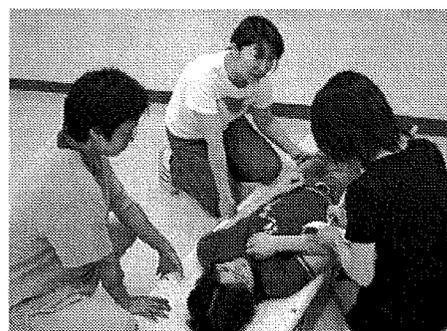
災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

ボランティア向けプログラムの目的

- ※ 直面する可能性のある危険を説明できる
- ※ その危険から自身をいかに保護するかの方法を学ぶ
- ※ 自分の作業から精神的ストレスを受けることがある
- ※ その症状と、援助を受ける方法を知る
- ※ 医学的または精神的な援助が必要なときと方法
- ※ 健康と安全に関する情報源を探る方法を知る

2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2017.10.26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



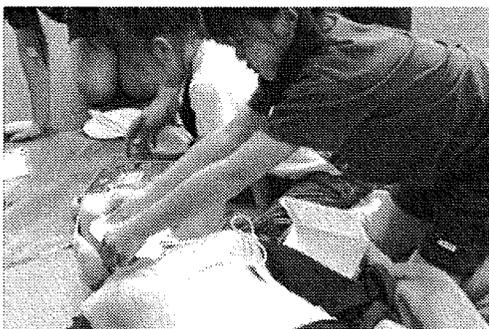
2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

JFASフォーラム

ボランティア活動で哀しい想いをしないために



2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

ボランティア **2007.6.24**
13:00~16:30
安全衛生フォーラム

- 主催：ボランティア安全衛生フォーラム実行委員会
- 後援：内閣府・総務省消防庁・文部科学省・厚生労働省・国土交通省
日本赤十字社・全国社会福祉協議会・中央共同募金会
- 協力：日本財団、社団法人 日本損害保険協会、AED普及協議会
特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会
ミドリ安全株式会社、株式会社 ダイナックス都市環境研究所
レールダルメディカル株式会社、

2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

内閣府 防災ボランティア活動検討会

- ・ 主要な災害ボランティアの方々を主体とする検討の場を創設
(事務局：内閣府防災担当)
- ・ 2004年に立上げ、これまで6回開催、今後も継続予定

2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

防災ボランティア活動検討会
安全衛生部会 発足 活動開始

JFASフォーラム安全管理賛同者
+
内閣府防災ボランティア活動検討会の有志
↓
同検討会の部会活動として安全衛生部会

2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

内閣府（災害予防担当） 防災ボランティアを希望される方のためのホームページ

防災ボランティアのページ

- 災害ボランティア活動情報 のページへ
 - ボランティアセンター運営様式集 のページへ
 - ボランティアに関心のある方へ のページへ
 - 防災ボランティアの情報・ヒント集 のページへ
 - 環境整備のための取り組み のページ
 - 防災ボランティア関連リンク集 のページ
- <http://www.bousai-vol.jp/>

2007/10/26 第6回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み

合同研究 成果発表

寒冷環境下における 防災ボランティア活動の 安全衛生に関する 情報・ヒント集 (暫定版)



2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアの安全衛生に関する取組み



2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

- ボランティア活動は自主的なものなので、公務災害も労働災害も適用されない（自己責任が原則）
- 現場に労働安全衛生の知識を持つ人材が少ない場合が多く、危険の予測や予防が充分できていない可能性
- ボランティアの数が多いと、危険な作業でもいいからしたいという要望が出やすい

2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

- 災害ボランティアの多くは被災地では精神的に高揚状態にあり、無理をしてしまいがち
- 休まず頑張り続けるボランティアがいて、被災者や他のボランティアは休むのは申し訳ないと感じてしまう
- ボランティアセンターや地元行政の安全衛生上の指示・要請を聴かず、独自に活動するボランティア団体・グループも存在

2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に期待したいこと

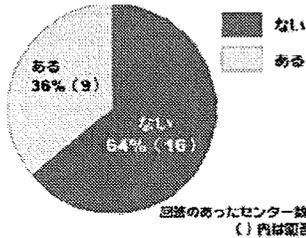
- 災害発生時に、医療的なケアの目を被災者に加えボランティアにも向けられないか（特に、疲労面、精神面）
- ボランティアの二次災害を防ぐため、現場で安全衛生や公衆衛生について指導できる人材を現場に派遣できないか（ボランティア向けの衛生管理者）

2017/10/26 第64回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

平成19年度災害ボランティアの安全衛生に関する調査

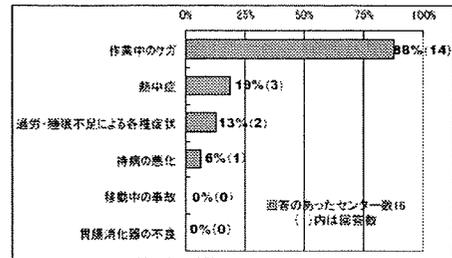
■図14 災害ボランティア活動におけるケガ・疾病の発生の有無



2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

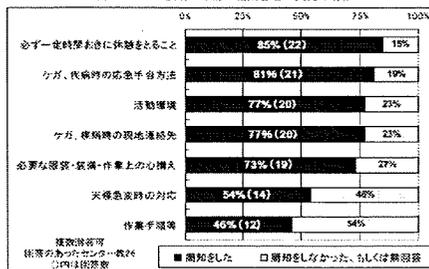
■図15 ケガ・疾病の内容



2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

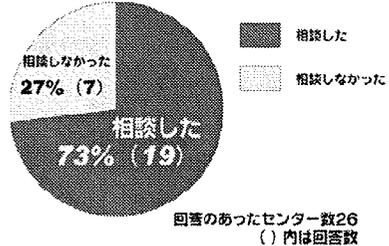
■図16 ケガ・疾病の予防・健康管理の実施の有無



2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

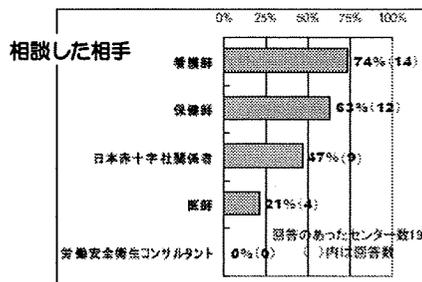
災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと

■図17 専門家への相談の有無



2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に理解して欲しいこと



2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

災害ボランティアに関して 公衆衛生関係者に期待したいこと

ボランティア活動 市民活動で、
誰も死んではいけない
誰も傷ついてはいけない

そのために何ができるか
一緒に考えてください。

2007.10.26 第4回日本公衆衛生学会

中越沖地震 被災地における自助、共助、公助

加藤 武男 氏（柏崎市議会議員、柏崎市西山町住民）

司会：

ここからお二人ボランティア関係でお願い致しました。

まずは、柏崎市議会議員で、柏崎市西山町の住民でもいらっしゃいます加藤さんにお話をお願いしております。加藤さんには、主に二つのことをお願いしております、一つは、組織や地域住民同士の助け合いによる災害対応についてです。もう一つは西山町というのが柏崎市に合併をされたという地域にあたりまして、今全国的に市町村合併というのは非常に進んでおりますので、その合併された市町村の中心部ではない部分についてどのような対応をしたらいいかというのは全国的にも重要な課題となっております。そういうお話もお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

加藤氏：

紹介いただきました加藤武男でございます。春先まで、うちの妻が議員だったんですけれども、体を崩しまして、私が議員になりました直後に震災がございまして。もともと地域の方で、食協の指導員を30年以上していましたので、地域との、関係は強かったので、幸い妻でなくて、たまたま私がバトントッチの議員であったので、よかったなと思っています。24時間体制で対応しましたので、また議員はそういう時に安全パイなんですね。皆さんの橋渡し役にな

ると思っております。

今回の中越沖地震があった7月16日から早いもので3ヶ月が経ちます。市民一丸となって頑張っておりますが、先ほどから話がありますが、本当にお世話になったなどという感を深くしております。

また、ボランティア活動について、大変大勢の方に来て頂きまして、誠に心強く、有難いものと考えております。どうか、これからも忘れずにひとつ支援して頂きたいと思えます。

また、市長の方からは、これだけはこのことで、原発については何も無かったと、火災はあったが、それについては無かったということ強調して欲しいということをおっしゃったので申し上げます。

また、本日の会に参加できましたことに深く感謝致します。

さて、今回のテーマでございますが、もう書いてございますけれども、「市役所本庁で指揮をとるべきことと、旧町や学区単位などで、権限を持たせること」で、もう一つは、「地区組織住民同士の助け合いによる災害対応」ということです。

最初に、被災地における自助、共助、公助という形で、お話をしたいと思います。

その前に柏崎の説明をいたします。柏崎市は、合併をしたばかりでございます。2年と3ヶ月目の柏崎市での震災被害でござ